平成22年度事務事業評価シート

平成 22 年　6 月　22 日　作成

事務事業No./名称	□サービス部門 ■支援部門	拠点-01 市街地整備運営事業		
主管課	再開発課	関連課	部内各課	
分野名	市街地整備			
目標（目標値）	部内各課の連絡調整及び適切な施設管理を行うことにより、良好な職場環境の確保を図る。			

ザイムスコード	個別事業名
1035	市街地整備運営事業

	データ区分	21年度	20年度	備考
人口等のデータ	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日（住民基本台帳）
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯	
運営資源状況	決算値	4,338千円	3,880千円	平成19年度から
	（国・県）			
	（負担金等）			
	（一般財源）	4,338千円	3,880千円	
	人員配置数	0.0人	0.0人	「人員配置数」「人件費」は、」拠点-02に記載
	人件費	0千円	0千円	
	協働のパートナー			
事務事業運営経費	総事業費	4,338千円	3,880千円	
	市民1人当りの経費	25円	22円	
	対象者1人当りの経費			

ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）	団体名					

指標と評価

指標	部内会議及び各課報告会の開催
評価	◎

◎目標を達成　○目標に向かって前進　△横ばい　×後退

	目標値	実績値
20年度	毎月	毎月
21年度	毎月	毎月
22年度	毎月	
23年度	毎月	
最終年度（　年度）	毎月	

創意・工夫・課題等改善状況		
	課題・問題点	（21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか） 無し
	創意・工夫・課題等の改善点21年度の成果	（課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか） 各課の課題を部の課題として、月１回の所内会議で検討するとともに、各課で行う月例報告会での課題検討や現状報告を通して各業務の進捗状況に応じた目標設定や検証を行うことで、目標把握の徹底が図れた。
	未解決の課題・問題点	（21年度事務事業の取組において対応（解決）できなかったものはどのようなことですか） 各課で行う月例報告会では、課題検討や現状報告を行うための資料作成時間が次第に増加する傾向にある。
	今後の方針（対応・改善）	（上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応（改善）していきますか） 引き続き、それぞれの会議を通して職員各自の目標設定や目標管理の徹底を図るとともに、課題検討や現状報告に対する資料の簡略化を図る。

A:充実又は拡大　B:現状のまま継続　C:統合又は縮小　D:廃止又は休止　E:事業完了

一次評価（課長評価）			二次評価（部長評価）		
評価結果	改善の必要性		評価結果	改善の必要性	
B	無	所内会議及び各課報告会の開催は、部内各課が事務事業を円滑に実施するための調整や情報交換に貢献している。 引き続き、会議を実施することで、良好な職場環境の確保を図る必要がある。	B	無	現状の方向性を維持しつつ、効率的、効果的な事務執行を行う
課長名	稲葉　博行		部名・部長名	拠点整備部　高橋　洋	